校長室雑記

笑ってごらん

第536号　H.27.12.15発行

～今日のことば～
叱ってくれる人がいなくなったら、
探してでも見つけなさい。
永六輔

◇◆13日(日)夜、『第29回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会並びに第63回県下一周市郡対抗駅伝競走大会　川辺地区選手団結団式及び激励会』が「さんぱる」にて行われ出席した。本坊輝雄南さつま市長をはじめ多くの来賓の中で晴れやかに結団式が行われ、本校1年栫山あかり選手が「選手代表誓いの言葉」を述べた。女子候補選手10名の中には本校から栫山選手のほか3年市成杏菜選手・1年茅野楓選手が含まれる。追記するならば、川口未希選手(南薩ケアほすぴたる薬剤師)・水盛真紀選手(鹿児島国際大学2年)の二人は卒業生である。スタッフにはコーチとして飯山由香先生も加わる。男子候補選手48名の中にはもちろん本校の中村太悟先生の名前もある。また、南薩東京社の田代一晃・直也兄弟(双子)も卒業生である。皆、頑張って欲しい。地区対抗女子駅伝は来年1月30日(土)霧島市にて。県下一周駅伝は来年2月13日(土)～17日(水)、初日13日は南さつま市役所がゴール地点となる。　◇◆14日(月)、看護学科実習体験発表会が行われた。年1回、5学年1,000名が一堂に会しての学科行事。この日もそれぞれの学年代表2名ずつの発表があり、その後の多くの質問やアドバイスによって充実したひとときとなった。また、午後は愛知県のひまわりクリニック院長永松香先生による『臨床の現場から看護師の卵たちへ伝えたいこと』と題しての講演会。救急医療の最前線で活躍されたご自身の体験談（症例)、喜びや悔しさをたくさんお話しくださった。お話を通じて私たちは多大なるエネルギーをいただけた。めげずに頑張らねば･･･。また、講演を聴いて感動した「思い」を多くの生徒が述べてくれたことが、私にとっても嬉しかった。皆、素晴らしい看護師になって欲しい。　◇◆本日の建学の精神の日講話に引き続きクラスマッチ、そして終業式と学校行事が続く。そして冬休みに突入。クリスマス・正月と家族や友人で過ごす楽しいイベントも待っている。羽目を外し過ぎないようにしよう。中には、進路確定へ向け「それどころじゃない！」と補習や模擬試験に取り組む人、1/3から始まる全国高校女子サッカー選手権大会出場の女子サッカー部をはじめ合宿練習・遠征・試合に臨む人などもいる。是非「自分力向上」に尽力して欲しい。　◆この一年、世の中も大きく動いた。嬉しいこと、悲しいこと、考えさせられること･･･等々。今年の反省をもとに素敵な年を迎えよう。良い年末年始を！！

～・

感謝道

◇◆3回目のギックリ腰をやってしまった。11日(金)夜、いただいた籾1俵を精米しようとコメ太郎に行き、30kgくらいの籾袋を持ち上げた際、左腰が「ピキッ」となってしまった。「若い頃は何でもなかったのに･･･。不覚･･･」。それ以来、立ち座りや寝返りのたびに激痛が走る。日頃元気にしている時は何も考えないが、こうして体調を崩すと、健康であることのありがたみを感じてしまう。辛いけれど、「生きている証拠」と捉え、自分の身体にも感謝しよう。　◇◆13日(日)、吹奏楽部クリスマスコンサートを聴きに行った。腰が悲鳴を上げている為、長時間の着席も態勢によっては辛い。よって、一所懸命頑張っている部員には申し訳なかったが、半分だけ聴かせてもらった。吹奏楽部の素晴らしい演奏に加え、今回は合唱部の賛助出演もあり、綺麗なハーモニーを披露してくれた。クリスマスプレゼント抽選会ではロールケーキ1本が当たり(初めて！)、とても嬉しかった（いただいたケーキは合唱部の皆さんへお福分け)。　◇◆10/26から改装工事に入っていた校長室が完成した。基本的にスクールバス運転技術員の方々が、他の業務の合間をぬって丁寧に作業にあたってくれた。感謝！綺麗な部屋に仕上がっている。17日(木)以降、再度引っ越しを行う予定(これ以上腰を傷めないように、時間をかけてボチボチ作業をしようと思う)。　◇◆この1年も思いつくまま気の赴くままの駄文を呈してきた。にもかかわらず、読み付き合ってくださった皆さんに大感謝。来年もよろしく！